# 東京海上Rogge（ロゲー）
# 世界ハイブリッド証券ファンド
# （通貨選択型）
# マネープール・ファンド

第30期　運用報告書（全体版）

（決算日　2026年９月17日）

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「東京海上Rogge（ロゲー）世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）マネープール・ファンド」は、このたび、第30期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

**当ファンドの仕組みは次の通りです。**

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／債券<br>（課税上は株式投資信託として取扱われます。） | |
| 信託期間 | 2011年11月８日から2031年９月17日 | |
| 運用方針 | 主として「東京海上マネーマザーファンド」受益証券に投資を行い、安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）マネープール・ファンド | 主として「東京海上マネーマザーファンド」受益証券に投資を行います。<br>なお、有価証券等の資産に直接投資することがあります。 |
| | 東京海上マネーマザーファンド | 円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーなどを主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）マネープール・ファンド | ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10％以下とします。<br>・外貨建資産への投資は、円貨で約定し円貨で決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。 |
| | 東京海上マネーマザーファンド | ・株式への投資は行いません。<br>・外貨建資産への投資は、円貨で約定し円貨で決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。 | |

東京海上アセットマネジメント
東京都千代田区丸の内１－８－２　鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口
東京海上アセットマネジメント　サービスデスク　0120-712-016
受付時間：営業日の９時～17時
https://www.tokiomarineam.co.jp/

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
また、－印は組み入れまたは売買がないことなどを示しています。

## ○最近５期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 参考指数 | | 債券組入比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | （分配落） | 税込み分配金 | 期中騰落率 | | 期中騰落率 | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | 百万円 |
| 26期(2024年９月17日) | 10,043 | 0 | 0.0 | 100.05 | 0.06 | 65.6 | 3 |
| 27期(2025年３月17日) | 10,044 | 0 | 0.0 | 100.20 | 0.15 | 66.3 | 3 |
| 28期(2025年９月17日) | 10,053 | 0 | 0.1 | 100.44 | 0.24 | 66.2 | 3 |
| 29期(2026年３月17日) | 10,067 | 0 | 0.1 | 100.74 | 0.30 | 87.9 | 3 |
| 30期(2026年９月17日) | 10,098 | 0 | 0.3 | 101.17 | 0.43 | 77.0 | 1 |

（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 参考指数 | | 債券組入比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 騰落率 | | 騰落率 | |
| （期　首） | 円 | % | | % | % |
| 2026年３月17日 | 10,067 | － | 100.74 | － | 87.9 |
| ３月末 | 10,069 | 0.0 | 100.77 | 0.03 | 87.9 |
| ４月末 | 10,074 | 0.1 | 100.83 | 0.09 | 87.8 |
| ５月末 | 10,079 | 0.1 | 100.89 | 0.15 | 87.7 |
| ６月末 | 10,083 | 0.2 | 100.96 | 0.22 | 87.8 |
| ７月末 | 10,089 | 0.2 | 101.04 | 0.30 | 87.7 |
| ８月末 | 10,095 | 0.3 | 101.13 | 0.39 | 76.1 |
| （期　末） | | | | | |
| 2026年９月17日 | 10,098 | 0.3 | 101.17 | 0.43 | 77.0 |

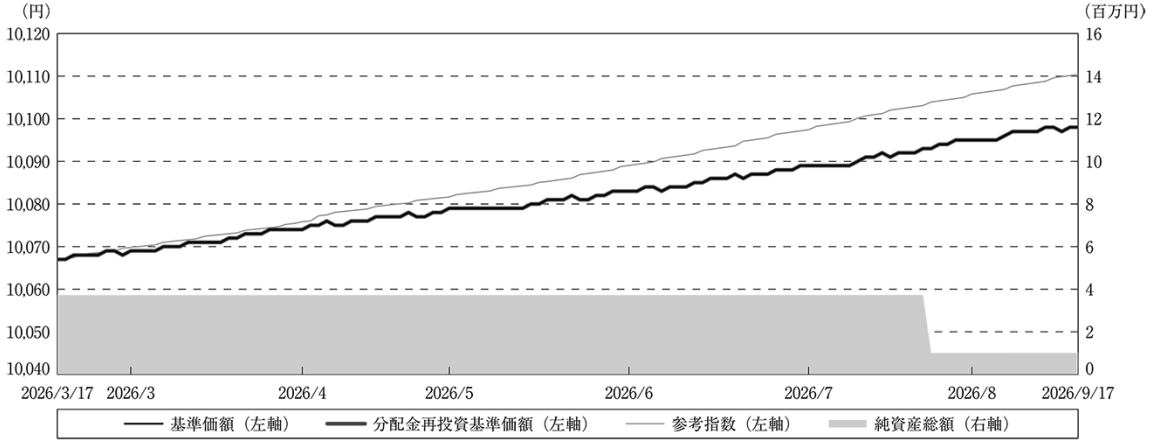
（注）騰落率は期首比です。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

参考指数は、無担保コール翌日物金利です。無担保コール翌日物金利は、設定日を100として指数化したものです。

## ○運用経過

（2026年３月18日～2026年９月17日）

### ■期中の基準価額等の推移




期　首：10,067円
期　末：10,098円（既払分配金（税込み）：０円）
騰落率：　0.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2026年３月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）参考指数は、無担保コール翌日物金利です。

### ◇基準価額の主な変動要因

プラス要因
・安定した利息収入の獲得

マイナス要因
・特にありません

### ■投資環境

当期の短期金融市場は、期初は日銀の政策金利が0.75%程度で据え置かれたことにより、短期金利は同水準を中心に横ばい圏で推移しましたが、日銀が2026年６月の政策決定会合で政策金利を1.00%程度へと引き上げると、短期金利もそれに応じて上昇しました。日銀の当座預金残高は442兆円程度から410兆円程度に減少していますが、短期金融市場では資金余剰感が強い地合いが継続しており、短期金利の動向に与える影響は限定的でした。

このような状況下、無担保コール翌日物金利は0.73%程度から0.98%程度の間で推移しました。また、３カ月物の短期国債利回りは、政策金利の動向や今後の見通しを反映して0.76%程度から1.30%程度の間で推移しました。

## ■ポートフォリオについて

**＜東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）マネープール・ファンド＞**

「東京海上マネーマザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持しました。

当ファンドの基準価額は、マザーファンドの値動きを反映し、0.3%上昇しました。

**＜東京海上マネーマザーファンド＞**

元本の安全性と流動性を重視し、国債などを中心とする円建て短期公社債などに投資してプラスの収益の確保に努めました。

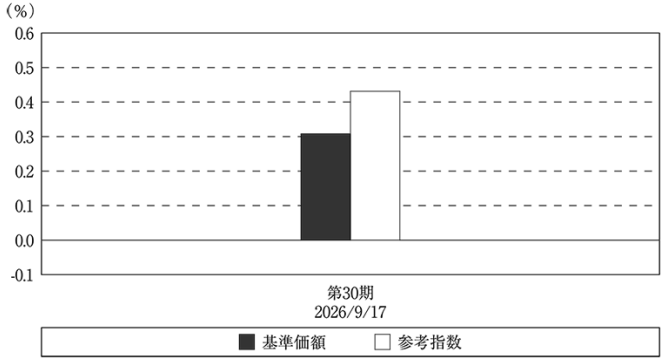
以上の運用の結果、基準価額は0.4%上昇しました。

## ■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

**基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）**




（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注）参考指数は、無担保コール翌日物金利です。

## ■分配金

当期においては、市況動向や運用の効率性などを勘案して、収益分配を行わないこととしました。収益分配に充てなかった収益については信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

## ◇分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

| 項目 | 第30期<br>2026年３月18日～<br>2026年９月17日 |
|---|---|
| 当期分配金 | － |
| （対基準価額比率） | －% |
| 当期の収益 | － |
| 当期の収益以外 | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 448 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

＜東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）マネープール・ファンド＞
「東京海上マネーマザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持します。

＜東京海上マネーマザーファンド＞
国債などを中心とする円建て短期公社債および短期金融商品を投資対象として運用することにより、安定したプラスの収益の確保に努める方針です。

## ○１万口当たりの費用明細

（2026年３月18日～2026年９月17日）

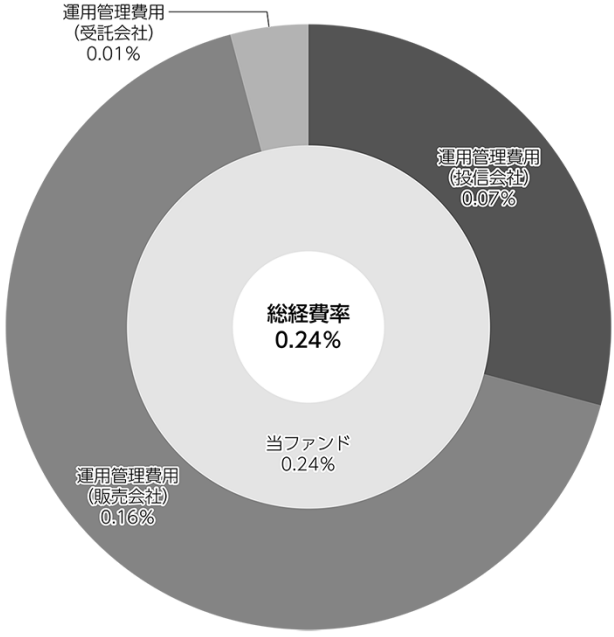
| 項目 | 当期 金額 | 当期 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 円 | % | |
| (a) 信託報酬 | 13 | 0.125 | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | ( 4) | (0.036) | ＊委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価 |
| （販売会社） | ( 8) | (0.083) | ＊購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 |
| （受託会社） | ( 1) | (0.006) | ＊運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価 |
| 合計 | 13 | 0.125 | |
| 期中の平均基準価額は、10,081円です。 | | | |

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**（参考情報）**

**◯総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.24％です。




（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2026年３月18日～2026年９月17日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 | 設定 | | 解約 | |
|---|---|---|---|---|
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| 東京海上マネーマザーファンド | － | － | 2,667 | 2,725 |

## ○利害関係人との取引状況等

（2026年３月18日～2026年９月17日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約の状況

（2026年３月18日～2026年９月17日）

| 期首残高（元本） | 当期設定元本 | 当期解約元本 | 期末残高（元本） | 取引の理由 |
|---|---|---|---|---|
| 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | |
| 1 | － | － | 1 | 当初設定における取得 |

## ○組入資産の明細

（2026年９月17日現在）

### 親投資信託残高

| 銘柄 | 期首（前期末） | 当期末 | |
|---|---|---|---|
| | 口数 | 口数 | 評価額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| 東京海上マネーマザーファンド | 3,659 | 991 | 1,013 |

## ○投資信託財産の構成

（2026年９月17日現在）

| 項目 | 当期末 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 東京海上マネーマザーファンド | 1,013 | 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 1,013 | 100.0 |

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 （2026年９月17日現在）

| 項　　目 | 当 期 末 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 資産 | 1,013,984 |
| 東京海上マネーマザーファンド(評価額) | 1,013,984 |
| (B) 負債 | 4,152 |
| 未払信託報酬 | 4,152 |
| (C) 純資産総額（Ａ－Ｂ） | 1,009,832 |
| 元本 | 1,000,000 |
| 次期繰越損益金 | 9,832 |
| (D) 受益権総口数 | 1,000,000口 |
| １万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ） | 10,098円 |

（注）当ファンドの期首元本額は3,695,879円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は2,695,879円です。
（注）上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額（元本の欠損）となります。
（注）上記表中の１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

## ○損益の状況 （2026年３月18日～2026年９月17日）

| 項　　目 | 当　　期 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 有価証券売買損益 | 7,263 |
| 売買益 | 14,216 |
| 売買損 | △ 6,953 |
| (B) 信託報酬等 | △ 4,152 |
| (C) 当期損益金（Ａ＋Ｂ） | 3,111 |
| (D) 前期繰越損益金 | 2,788 |
| (E) 追加信託差損益金 | 3,933 |
| （配当等相当額） | ( 38,938) |
| （売買損益相当額） | (△35,005) |
| (F) 計（Ｃ＋Ｄ＋Ｅ） | 9,832 |
| (G) 収益分配金 | 0 |
| 次期繰越損益金（Ｆ＋Ｇ） | 9,832 |
| 追加信託差損益金 | 3,933 |
| （配当等相当額） | ( 38,938) |
| （売買損益相当額） | (△35,005) |
| 分配準備積立金 | 5,899 |

（注）**(A)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによるものを含みます。
（注）**(B)信託報酬等**は、消費税等相当額を含めて表示しています。
（注）**(E)追加信託差損益金**は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。
（注）分配金の計算過程は以下の通りです。

| 項　　目 | 当　　期 |
|---|---|
| a. 配当等収益(費用控除後) | 383円 |
| b. 有価証券等損益額(費用控除後) | 383円 |
| c. 信託約款に規定する収益調整金 | 38,938円 |
| d. 信託約款に規定する分配準備積立金 | 5,133円 |
| e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d) | 44,837円 |
| f. 分配対象収益（１万口当たり） | 448円 |
| g. 分配金 | 0円 |
| h. 分配金（１万口当たり） | 0円 |

## ○お知らせ

・2026年４月１日付で、「一般社団法人投資信託協会」は「一般社団法人日本投資顧問業協会」と合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更したことに伴い、所要の約款変更を行いました。

・2026年９月16日付で、下記各ファンドの満期償還に伴い、当ファンドのスイッチング対象から除外するため、所要の約款変更を行いました。
・東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）ユーロコース（毎月分配型）
・東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（毎月分配型）
・東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）トルコ・リラコース（毎月分配型）
・東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型)資源国通貨バスケットコース(毎月分配型)

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2026年９月17日現在）

### ＜東京海上マネーマザーファンド＞

下記は、東京海上マネーマザーファンド全体(5,095千口)の内容です。

#### 国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債　種類別開示

| 区分 | 当期末 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 額面金額 | 評価額 | 組入比率 | うちＢＢ格以下組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | | | ５年以上 | ２年以上 | ２年未満 |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % |
| 国債証券 | 4,000 | 3,996 | 76.7 | － | － | － | 76.7 |
| | (3,000) | (2,996) | (57.5) | (－) | (－) | (－) | (57.5) |
| 合計 | 4,000 | 3,996 | 76.7 | － | － | － | 76.7 |
| | (3,000) | (2,996) | (57.5) | (－) | (－) | (－) | (57.5) |

(注)（ ）内は非上場債で内書きです。
(注) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債　銘柄別開示

| 銘柄 | 当期末 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 利率 | 額面金額 | 評価額 | 償還年月日 |
| **国債証券** | % | 千円 | 千円 | |
| 第1396回国庫短期証券 | － | 3,000 | 2,996 | 2026/10/26 |
| 第465回利付国債（２年） | 0.4 | 1,000 | 999 | 2026/10/１ |
| 合計 | | 4,000 | 3,996 | |

(注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

# 東京海上マネーマザーファンド

## 運用報告書　第19期（決算日　2026年８月17日）

（計算期間　2025年８月16日～2026年８月17日）

ここに、法令・諸規則に基づき、当マザーファンド（親投資信託）の直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
また、－印は組み入れまたは売買がないことなどを示しています。

## ○最近５期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 参考指数 | | 債券組入比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 期中騰落率 | | 期中騰落率 | | |
| | 円 | % | | % | % | 百万円 |
| 15期(2022年８月15日) | 10,118 | 0.0 | 100.66 | △0.02 | 71.1 | 8 |
| 16期(2023年８月15日) | 10,119 | 0.0 | 100.62 | △0.04 | 69.6 | 8 |
| 17期(2024年８月15日) | 10,122 | 0.0 | 100.64 | 0.02 | 65.6 | 9 |
| 18期(2025年８月15日) | 10,149 | 0.3 | 101.01 | 0.37 | 66.2 | 9 |
| 19期(2026年８月17日) | 10,215 | 0.7 | 101.70 | 0.69 | 87.5 | 7 |

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 参考指数 | | 債券組入比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 騰落率 | | 騰落率 | |
| （期　首） | 円 | % | | % | % |
| 2025年８月15日 | 10,149 | － | 101.01 | － | 66.2 |
| ８月末 | 10,151 | 0.0 | 101.03 | 0.02 | 66.2 |
| ９月末 | 10,155 | 0.1 | 101.07 | 0.06 | 66.2 |
| 10月末 | 10,159 | 0.1 | 101.11 | 0.10 | 77.2 |
| 11月末 | 10,162 | 0.1 | 101.15 | 0.14 | 77.1 |
| 12月末 | 10,166 | 0.2 | 101.20 | 0.19 | 88.0 |
| 2026年１月末 | 10,171 | 0.2 | 101.26 | 0.25 | 87.9 |
| ２月末 | 10,176 | 0.3 | 101.32 | 0.30 | 87.8 |
| ３月末 | 10,183 | 0.3 | 101.38 | 0.37 | 87.9 |
| ４月末 | 10,190 | 0.4 | 101.44 | 0.43 | 87.8 |
| ５月末 | 10,197 | 0.5 | 101.50 | 0.49 | 87.7 |
| ６月末 | 10,203 | 0.5 | 101.57 | 0.56 | 87.7 |
| ７月末 | 10,211 | 0.6 | 101.66 | 0.64 | 87.6 |
| （期　末） | | | | | |
| 2026年８月17日 | 10,215 | 0.7 | 101.70 | 0.69 | 87.5 |

（注）騰落率は期首比です。

参考指数は無担保コール翌日物金利です。無担保コール翌日物金利は設定日（2008年３月28日）を100として指数化したものです。

## ○運用経過

（2025年８月16日～2026年８月17日）

### ■期中の基準価額等の推移

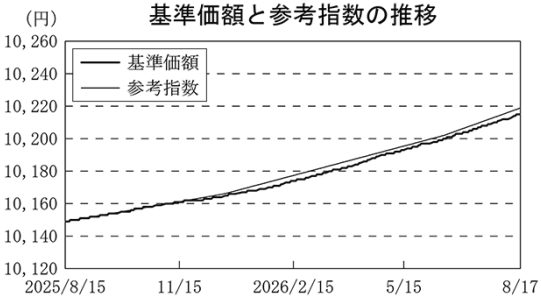
期　首：10,149円
期　末：10,215円
騰落率：　0.7%

### ◇基準価額の主な変動要因

プラス要因
・安定した利息収入の獲得

マイナス要因
・特にありません

基準価額と参考指数の推移



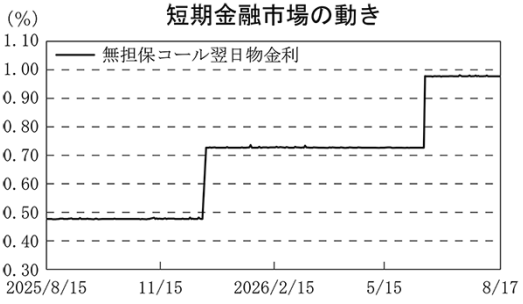

（注）参考指数は、期首（2025年８月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化したものです。
（注）参考指数は、無担保コール翌日物金利です。

### ■投資環境

当期の短期金融市場は、期初、日銀が政策金利を0.50%程度で据え置いたことにより短期金利は同水準を中心に横ばいで推移しましたが、2025年12月に金融政策決定会合で政策金利を0.75%程度へ、さらに2026年６月には1.00%程度へそれぞれ引き上げると、短期金利もそれに応じて上昇しました。日銀の当座預金残高は523兆円程度から425兆円程度に減少していますが、短期金融市場では資金余剰感が強い地合いが継続しており、短期金利の動向に与える影響は限定的でした。

このような状況下、無担保コール翌日物金利は0.48%程度から0.98%程度の間で推移しました。また、３カ月物の短期国債利回りは0.38%程度から1.08%程度の間で推移しました。

短期金融市場の動き




### ■ポートフォリオについて

元本の安全性と流動性を重視し、国債を中心とする円建て短期公社債などに投資してプラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額は0.7%上昇しました。

## ○今後の運用方針

国債などを中心とする円建て短期公社債および短期金融商品を投資対象として運用することにより、安定したプラスの収益の確保に努める方針です。

## ○１万口当たりの費用明細

（2025年８月16日～2026年８月17日）

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

（2025年８月16日～2026年８月17日）

### 公社債

| | | 買付額 | 売付額 |
|---|---|---|---|
| | | 千円 | 千円 |
| 国内 | 国債証券 | 30,951 | －<br>(30,000) |

（注）金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれていません）
（注）（ ）内は償還による減少分です。

## ○利害関係人との取引状況等

（2025年８月16日～2026年８月17日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2026年８月17日現在）

### 国内公社債

（A）国内（邦貨建）公社債　種類別開示

| 区分 | 当期末 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 額面金額 | 評価額 | 組入比率 | うちＢＢ格以下組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | | | ５年以上 | ２年以上 | ２年未満 |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % |
| 国債証券 | 7,000 | 6,990 | 87.5 | － | － | － | 87.5 |
| | (3,000) | (2,994) | (37.5) | (－) | (－) | (－) | (37.5) |
| 合計 | 7,000 | 6,990 | 87.5 | － | － | － | 87.5 |
| | (3,000) | (2,994) | (37.5) | (－) | (－) | (－) | (37.5) |

（注）（ ）内は、非上場債で内書きです。
（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）評価については、金融商品取引業者、価格情報会社などよりデータを入手しています。

（B）国内（邦貨建）公社債　銘柄別開示

| 銘柄 | 当期末 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 利率 | 額面金額 | 評価額 | 償還年月日 |
| **国債証券** | % | 千円 | 千円 | |
| 第1396回国庫短期証券 | － | 3,000 | 2,994 | 2026/10/26 |
| 第465回利付国債（２年） | 0.4 | 4,000 | 3,996 | 2026/10/１ |
| 合計 | | 7,000 | 6,990 | |

（注）株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

## ○投資信託財産の構成

（2026年８月17日現在）

| 項目 | 当期末 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 公社債 | 6,990 | 87.5 |
| コール・ローン等、その他 | 996 | 12.5 |
| 投資信託財産総額 | 7,986 | 100.0 |

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 （2026年８月17日現在）

| 項目 | 当期末 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 資産 | 7,986,701 |
| コール・ローン等 | 989,674 |
| 公社債(評価額) | 6,990,987 |
| 未収利息 | 1,788 |
| 前払費用 | 4,252 |
| (B) 負債 | 0 |
| (C) 純資産総額(Ａ－Ｂ) | 7,986,701 |
| 元本 | 7,818,465 |
| 次期繰越損益金 | 168,236 |
| (D) 受益権総口数 | 7,818,465口 |
| １万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ) | 10,215円 |

（注）当親ファンドの期首元本額は8,927,442円、期中追加設定元本額は０円、期中一部解約元本額は1,108,977円です。

＜元本の内訳＞

| | |
|---|---|
| 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）マネープール・ファンド | 3,654,930円 |
| 東京海上・東南アジア株式ファンド | 1,100,000円 |
| 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）円コース（毎月分配型） | 991,474円 |
| 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）豪ドルコース（毎月分配型） | 991,474円 |
| 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（毎月分配型） | 991,474円 |
| 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）米ドルコース（毎月分配型） | 9,915円 |
| 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）ユーロコース（毎月分配型） | 9,915円 |
| 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）資源国通貨バスケットコース（毎月分配型） | 9,915円 |
| 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（毎月分配型） | 9,898円 |
| 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）トルコ・リラコース（毎月分配型） | 9,898円 |
| 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド 円コース（年1回決算型） | 9,896円 |
| 東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド 米ドルコース（年1回決算型） | 9,896円 |
| 東京海上・がんとたたかう投信（為替ヘッジなし）（年１回決算型） | 9,890円 |
| 東京海上・がんとたたかう投信（為替ヘッジあり）（年１回決算型） | 9,890円 |

（注）上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

（注）上記表中の１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

## ○損益の状況 （2025年８月16日～2026年８月17日）

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 11,651 |
| 受取利息 | 11,651 |
| (B) 有価証券売買損益 | 41,534 |
| 売買益 | 41,534 |
| (C) 当期損益金(Ａ＋Ｂ) | 53,185 |
| (D) 前期繰越損益金 | 133,350 |
| (E) 解約差損益金 | △ 18,299 |
| (F) 計(Ｃ＋Ｄ＋Ｅ) | 168,236 |
| 次期繰越損益金(Ｆ) | 168,236 |

（注）(B)**有価証券売買損益**は、期末の評価換えによるものを含みます。

（注）(E)**解約差損益金**は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分です。

## ○お知らせ

2026年４月１日付で、「一般社団法人投資信託協会」は「一般社団法人日本投資顧問業協会」と合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更したことに伴い、所要の約款変更を行いました。